

証券コード：4547

決算補足資料

2025年3月期 通期決算

2025年5月7日



キッセイ薬品工業株式会社

目 次

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

注記

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2025年5月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、75,299百万円（前連結会計年度比18.9%増）となりました。過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」に加え、中期経営計画「PEGASUS」期間中に新発売した4製品（顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」、透析患者におけるそう痒症治療薬「コルスバ静注透析用シリンジ」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タパリス錠」、潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」）の売上の伸長、更には海外ライセンス収入なども増加し、増収となりました。なお、「ミニリンメルト」及び「デスマプレシン製剤」については、2025年3月31日をもってフェリング・ファーマ株式会社との販売提携を終了しました。

また、当社が創製しセラメックス社（英国）に技術導出したリンザゴリクス（一般名）は、子宮筋腫を適応症として、同社より2024年9月、ドイツにて「Yseltz（イセルティ）」の製品名で新発売され、その後順次、欧州各国他において発売及び発売に向けた準備が進められています。さらに、本剤は2024年11月に子宮内膜症の追加適応症を取得しました。これらに伴い、同社との契約に基づき海外ライセンス収入を計上しています。

情報サービス事業の売上高は8,735百万円（前連結会計年度比4.0%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は3,435百万円（前連結会計年度比13.7%増）、物品販売事業の売上高は860百万円（前連結会計年度比6.3%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、研究開発費を主として販売費及び一般管理費が増加したものの、増収及び売上原価率の改善により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。また、「ミニリンメルト」及び「デスマプレシン製剤」については、フェリング・ファーマ株式会社との販売提携が終了したことに伴い、長期前払費用の取崩し（販売権の減損損失）を特別損失として計上しています。

・研究開発の状況

当社の創製品であるリンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）は、2025年2月に国内において子宮筋腫を適応症とする承認申請を行うとともに、2025年3月には子宮内膜症の効能追加取得に向けた国内第Ⅲ相臨床試験を開始しました。また、脊髄小脳変性症治療薬ロバチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）についても、2025年3月より国内追加第Ⅲ相臨床試験を開始しています。2024年9月には、ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）との間で、急性骨髄性白血病治療薬オルタシデニブ（一般名）の日本・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権の取得に関する契約を締結しました。

リンザゴリクスの海外開発状況については、2024年6月に、JWファーマシューティカル社（韓国）に韓国における独占的な開発権及び販売権を許諾しました。なお、バイオジェンユイン社（中国）との間で締結した中国他における開発権及び販売権を許諾するライセンス契約は、2025年3月に終結しました。

当社がライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入した慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タパリス錠）については、2025年1月に台田薬品股份有限公司（台湾）との間で、台湾における開発権及び販売権を許諾するサブライセンス契約を締結しました。また、本剤の韓国におけるサブライセンス先であるJWファーマシューティカル社（韓国）は、2025年1月に同適応症にて販売承認を取得し、発売に向けた準備を進めています。

なお、当社が創製した潰瘍性大腸炎治療薬KSP-0243（開発番号）は、前期第Ⅱ相臨床試験において主要評価項目を達成できなかったことから開発を中止しました。

当社は2025年4月に、ライフサイエンス領域における世界有数のエコシステムの中心である米国マサチューセッツ州ボストンエリアに、米国子会社KISSEI AMERICA, INC.（本社：ニュージャージー州フォートリー）の新オフィス「Boston Open Innovation Office」を開設しました。本オフィスを拠点として、先進的な研究技術へのアクセスを高めオープンイノベーションを促進し、革新的医薬品の創出基盤を強化しています。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2024年 3月期	2025年3月期			2026年3月期予想		
		予想*1	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
売上高	75,579	86,500	88,330	16.9%	91,500	3.6%	44,300
医薬品事業	63,348	74,000	75,299	18.9%	75,500	0.3%	37,200
国内医薬品	55,339	64,100	63,975	15.6%	65,800	2.9%	32,200
医薬品	50,488	59,300	59,108	17.1%	60,700	2.7%	29,800
その他*2	4,850	4,800	4,866	0.3%	5,100	4.8%	2,400
海外ライセンス	4,463	6,300	7,770	74.1%	6,100	△21.5%	3,200
技術料*3	714	2,100	2,209	209.1%	800	△63.8%	700
輸出	3,749	4,200	5,561	48.3%	5,300	△4.7%	2,500
ヘルスケア食品	3,545	3,600	3,553	0.2%	3,600	1.3%	1,800
情報サービス事業	8,399	8,500	8,735	4.0%	11,400	30.5%	4,700
建設・施設メンテナンス事業	3,022	3,150	3,435	13.7%	3,700	7.7%	1,900
物品販売事業	809	850	860	6.3%	900	4.6%	500
売上原価 (原価率%)	38,238 (50.6)	43,200 (49.9)	44,265 (50.1)	15.8%	47,100 (51.5)	6.4%	22,400 (50.6)
売上総利益	37,341	43,300	44,065	18.0%	44,400	0.8%	21,900
販売費及び一般管理費	33,324	38,300	38,291	14.9%	38,400	0.3%	19,600
研究開発費 (売上高比%)	9,474 (12.5)	13,000 (15.0)	12,889 (14.6)	36.0%	13,000 (14.2)	0.9%	6,600 (14.9)
営業利益	4,017	5,000	5,773	43.7%	6,000	3.9%	2,300
営業外収益	2,329	1,500	1,542	△33.8%	1,500	△2.8%	850
受取利息及び配当金	1,319		1,450	9.9%			
その他の収益	1,009		92	△90.8%			
営業外費用	203	500	341	67.7%	100	△70.7%	50
支払利息	18		21	20.1%			
その他の費用	185		319	72.3%			
経常利益	6,142	6,000	6,974	13.5%	7,400	6.1%	3,100
特別利益	8,349	10,500	12,033	44.1%	9,300	△22.7%	5,000
特別損失	43	300	3,398	－	－	－	－
税金等調整前当期純利益	14,449	16,200	15,610	8.0%	16,700	7.0%	8,100
法人税、住民税及び事業税	3,263	4,300	2,918	△10.6%	3,500	19.9%	1,500
法人税等調整額	△104	150	716	－	800	11.7%	350
非支配株主に帰属する 当期純利益	128	50	14	△88.9%	100	601.1%	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,160	11,700	11,961	7.2%	12,300	2.8%	6,200
(包括利益)	(36,044)	(△1,914)	(－)				

*1：2025年3月期第2四半期（中間期）決算発表時に公表した予想数値

*2：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

*3：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

売上高	実績： 医薬品事業：18.9%増収 国内医薬品ではベオーバに加え、タブネオス、コルスバ、タバリス及びカログラの伸長などにより増収。また、海外ライセンス収入は、輸出売上、技術料売上がともに増加。 その他の事業：6.5%増収 情報サービス事業が4.0%増収、建設・施設メンテナンス事業が13.7%増収、物品販売事業が6.3%増収。 予想： 医薬品事業：0.3%増収 国内医薬品では、引き続きベオーバ、タブネオス、コルスバ、タバリス及びカログラの育成などにより、増収の見込み。 海外ライセンス収入は、輸出売上、技術料売上がともに減少の一方、ヘルスケア食品は微増の見込み。 その他の事業：22.8%増収 情報サービス事業、建設・施設メンテナンス事業、物品販売事業の全ての事業において増収の見込み。
売上原価	実績：売上原価率は0.5ポイント改善 医薬品事業の売上原価率は、製品構成の変化や海外ライセンス収入の増加などにより改善。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより上昇。 予想：売上原価率は1.4ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は薬価改定の影響があるものの、製品構成の変化などにより改善を見込む。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより上昇を見込む。
販売費及び一般管理費	実績：前期比14.9%増加 販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて増加。研究開発費の増加は、主として新規導入テーマの契約一時金の計上、創薬テーマの臨床試験開始に向けた研究費の増加による。 販売費の増加は、営業活動経費、減価償却費の増加などによる。 予想：前期比0.3%増加 販売費は増加、研究開発費は微増の見込み。販売費の増加は、前期と同様の理由による。研究開発費は、前期に計上した新規導入テーマの契約一時金の反動を、臨床開発経費、創薬テーマの臨床試験開始に向けた研究費の増加などで相殺し、微増を見込む。
営業外損益	実績：前期に計上した有価証券売却益、有価証券評価益の反動などによる。 予想：特別なものは見込んでいない。
特別損益	実績：投資有価証券売却益の増加、減損損失の計上などによる。 予想：投資有価証券売却益、固定資産売却益の計上を見込む。

【その他項目（連結）】

（百万円）

項目 \ 決算期	2024年 3月期	2025年3月期			2026年3月期予想		
		予想*	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
減価償却費	4,254	4,900	4,615	8.5%	4,800	4.0%	2,400
設備投資額	1,879	4,400	4,705	150.4%	5,500	16.9%	4,000
主要内容	生産設備等	生産設備等	生産設備等		生産設備等		生産設備等
	733	2,000	1,904		3,000		2,700
	その他	その他	その他		その他		その他
	1,145	2,400	2,801		2,500		1,300
期末従業員数(人)	1,779	—	1,778	△1	—	—	—

*：2025年3月期第2四半期（中間期）決算発表時に公表した予想数値

Ⅱ．連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期	2024年 3月期	2025年 3月期	増減
資 産	流動資産		104,551	106,980	2,428
	現金及び預金		22,894	25,169	2,275
	受取手形、売掛金及び契約資産		28,680	29,654	974
	特定金銭信託及び有価証券		24,901	25,286	384
	棚卸資産		26,297	24,980	△1,316
	その他の流動資産		1,778	1,889	110
	固定資産		156,377	137,079	△19,297
	有形固定資産		24,861	27,069	2,208
	無形固定資産		1,992	1,894	△98
	投資その他の資産		129,523	108,115	△21,408
	投資有価証券		106,361	84,869	△21,491
	長期前払費用		14,219	12,708	△1,510
	退職給付に係る資産		7,311	8,804	1,492
	繰延税金資産		608	566	△42
	その他の投資等		1,040	1,184	144
	貸倒引当金		△18	△18	-
資産合計			260,929	244,059	△16,869

現金及び預金	・主として、利益による増加
受取手形、売掛金及び契約資産	・医薬品事業、その他の事業における増加
棚卸資産	・医薬品事業における商品及び原材料の減少、建設・施設メンテナンス事業における仕掛品の減少
有形固定資産	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における建設仮勘定と情報サービス事業における建物及び構築物の増加
投資有価証券	・売却による減少、時価評価による含み益の減少
長期前払費用	・医薬品事業における新規取得資産の計上による増加、販売提携の解消による減少に加え、減価償却による減少

(百万円)

項目		決算期	2024年 3月期	2025年 3月期	増減
負債	負債合計		39,793	33,933	△5,860
	流動負債		17,663	16,578	△1,084
	支払手形及び買掛金		4,893	4,602	△291
	短期借入金		1,340	1,280	△60
	未払法人税等		2,380	1,474	△906
	契約負債		1,486	1,033	△453
	その他の流動負債		7,562	8,189	627
	固定負債		22,129	17,354	△4,775
	繰延税金負債		21,188	16,481	△4,707
	その他の固定負債		941	873	△67
純資産	純資産合計		221,136	210,126	△11,009
	株主資本		162,683	165,550	2,866
	資本金		24,356	24,356	－
	資本剰余金		24,226	24,226	－
	利益剰余金		127,310	131,488	4,178
	自己株式		△13,209	△14,520	△1,311
	その他の包括利益累計額		57,344	43,453	△13,890
	非支配株主持分		1,107	1,122	14
負債及び純資産合計			260,929	244,059	△16,869

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における減少
その他の流動負債	・医薬品事業における未払金の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益減少に伴う減少
利益剰余金	・期中配当金支払いによる3,801百万円の減少、自己株式の消却による3,981百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益による11,961百万円の増加
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益減少に伴うその他有価証券評価差額金の減少、退職給付に係る調整累計額の増加

Ⅲ．連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2024年 3月期	2025年 3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,677	6,521	8,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,690	4,952	△3,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,006	△9,325	681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	27	30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,997	2,175	5,172
現金及び現金同等物の期首残高	48,884	45,887	△2,997
現金及び現金同等物の期末残高	45,887	48,158	2,271

主な増減要因（前期比）

1．営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、売上債権及び契約資産の増加や仕入債務の減少などの資金の減少要因の一方で、棚卸資産の減少やその他流動負債の増加などが資金の増加要因となり、当連結会計年度において6,521百万円の収入となりました。

2．投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券売却による収入の増加などの一方で、主として製造設備建設に伴う有形固定資産の取得や長期前払費用の取得による支出の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3,738百万円減の4,952百万円となりました。

3．財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ681百万円支出減の9,325百万円となりました。

IV. 配当の推移

(円)

項目 \ 決算期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期予想
中間配当	40	41	45	60
年間配当	80	82	100	120

(%)

配当性向	35.0	33.3	36.5	40.4
------	------	------	------	------

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	－	6,000	5,292	5,334
(取得株式数)	－	(1,910千株)	(1,400千株)	(1,400千株)
自己株式の消却	－	5,704	3,981	4,272
(消却株式数)	－	(2,500千株)	(1,400千株)	(1,400千株)

(%)

総還元性向	35.0	86.8	80.6	83.8
-------	------	------	------	------

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2024年 3月期実績	2025年3月期			2026年3月期予想		
		予想*1	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	15,335	18,200	18,662	21.7%	20,400	9.3%	10,000
MPA*2、GPA*3治療薬 タブネオス	5,161	8,800	8,989	74.2%	11,400	26.8%	5,400
透析そ痒症治療薬 コルスバ	757	4,700	5,284	597.4%	7,100	34.4%	3,400
高リン血症治療薬 ビートル	5,241	4,800	4,442	△15.2%	4,600	3.6%	2,400
腎性貧血治療薬 ダルベオエチン アルファBS注JCR	4,077	3,600	3,792	△7.0%	3,200	△15.6%	1,600
デスモプレシン製剤 ミニリンメルト、他*4	3,662	3,400	3,503	△4.3%	—	—	—
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	3,806	3,300	3,209	△15.7%	2,800	△12.7%	1,400
慢性ITP*5治療薬 タハリス	818	2,500	2,190	167.6%	3,700	68.9%	1,700
腎性貧血治療薬 エボエチンアルファBS注JCR	2,336	1,800	1,771	△24.2%	1,600	△9.7%	800
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	1,091	1,600	1,153	5.6%	1,400	21.4%	700
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,076	1,300	1,040	△49.9%	500	△51.9%	300
糖尿病治療薬 マリゼブ	1,073	1,100	939	△12.5%	1,000	6.5%	500

*1：2025年3月期第2四半期（中間期）決算発表時に公表した予想数値

*2：顕微鏡的多発血管炎

*3：多発血管炎性肉芽腫症

*4：ミニリンメルト、デスモプレシン点鼻スプレー、デスモプレシン静注 → 2025年3月31日をもってフェリング・ファーマ株式会社との販売提携を終了

*5：特発性血小板減少性紫斑病

VI. 新薬開発状況（自社）

（2025年5月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	申請中	創製品
	子宮内膜症		第Ⅲ相	創製品
クレトスチモゲン グレンデノレブペク ／CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
ロパチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相	導入品／塩野義製薬
マツベキソール ／KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品

※ 前回公表時（2025年2月）からの変更点

リンザゴリクス（子宮筋腫）	申請準備中	→	申請中
リンザゴリクス（子宮内膜症）	第Ⅲ相準備中	→	第Ⅲ相
ロパチレリン（脊髄小脳変性症）	第Ⅲ相準備中	→	第Ⅲ相

VII. 新薬開発状況（導出）

（2025年5月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	4ヵ国 ^{*1}	セラメックス(英国)	承認申請中
			台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
	子宮内膜症		欧州	セラメックス(英国)	承認取得
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性 紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル (韓国)	発売準備中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中

*1 スイス、ブラジル、イスラエル、南アフリカ共和国

※ 前回公表時（2025年2月）からの変更点

リンザゴリクス（子宮筋腫・オーストラリア）	承認申請中	→	（子宮筋腫・4ヵ国）承認申請中
ホスタマチニブ（韓国）	承認取得	→	発売準備中